

# 平成 27 年度 第二部会技術分科会 活動報告 (概要)

平成 28 年 6 月  
一般社団法人 日本消火装置工業会

## 1. 委員会

### (1) 委員構成

15 社 15 名で構成

### (2) 開催回数

定例会 (原則月 1 回) 9 回 + 合同委員会 1 回 = 計 10 回 (内 1 回は関西支部で開催)

## 2. 審議・確認事項

### (1) P F O S 含有泡消火薬剤との混合使用に関する資料について

- ・新たにペア認定を取得したヘッドがあり、資料の修正を行い、消装工のホームページにて公開した。

### (2) 問い合わせ窓口の修正について

- ・担当者移動などに伴い、窓口が変更になる会社が複数あったので、修正し消装工のホームページにて公開した。

### (3) 消装工主催の勉強会の講師担当について

- ・7 月に「P F O S 含有泡消火薬剤を用いた泡消火設備について」として消装工の会員を対象とした勉強会の講師を担当した。
- ・5 年前に P F O S の法律が制定された際の勉強会を行なって以来のものである。
- ・5 年間で経験・相談のあった内容を主に、運用上の対応等を解説した。
- ・参加者は 108 名であった。

### (4) P F O S 取扱マニュアル第 5 版について

- ・勉強会の開催に合わせて、内容を一部見直し第 5 版として発行した。
- ・参考となる各官庁の URL 等の修正等を行なった。

### (5) ペア認定の公表について

- ・消火設備ハンドブックの改訂を行うに当たり、泡消火薬剤と泡ヘッドの組み合わせ、いわゆるペア認定の情報を掲載したいとの要望があり、各委員会社に情報公開をお願いした。
- ・2016 年度の継続作業としている。

### (6) 放電加工機に係る試験確認基準の見直しに関する検討委員会について

- ・制定からかなりの年数が経過しており、放電加工機自体についても新技術が導入されており、試験確認基準の見直しに関する検討委員会が開催されることになった。
- ・第二部会から 1 名委員を派遣した。

### (7) P F O S 関連の環境省ヒアリングについて

- ・環境省の P F O S 処理状況の調査に対し打ち合わせを実施し協力した。

### (8) 合同委員会

- ・技術委員会、第一部会、第三部会、劣化調査・検討委員会、設計工事基準書作成WG 2 と合

同の委員会を平成 27 年 11 月に担当部会として開催した。

### 3. 関連作業部会および外部委員会

#### (1) 泡・水噴霧消火設備設計・工事基準書改訂編集WG 2

・平成 27 年度は 9 回開催した。

以 上